

# 大中学生の成長を実感した前期

4月に始まった今年度も、早いもので今日が前期の最終日です。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、様々な場面で大中学生の頑張りが見られた、充実の半年間だったと思います。

生徒の手によって「心得」の見直しが進んでいます。今年度の生徒会スローガン「挑戦～新たな大中～」につながる大きなチャレンジです。生徒だけによる見直しではなく、教職員や保護者・地域を巻き込んで話し合いを行うなど、非常にレベルの高い取組を展開しています。

また、先日の大空祭で生徒が見せてくれた頑張りの姿も、素晴らしいものでした。ダンスパフォーマンスはもちろん、閉会式でリーダーたちが語った思い、そして、感極まって涙する姿に、思わず発せられた仲間からの声…。感動の連続でした。

日常でも、落ち着いて学校生活を過ごす姿やさわやかにあいさつを交わす姿が、大中学生の当たり前姿となっています。集会時などで全員が真剣に話を聞く姿も、実はすごいことなのです。学校全体の成長の姿がそこにはあります。このような大中学生の姿に、来校される方々も感心されており、称賛の声も多く聞かれます。大中学生を誇らしく思います。

大中学生の素晴らしい頑張りと成長が見られた令和4年度の前期でした。一人一人が自身の取組を振り返り、頑張った自分を大いにほめましょう。また、頑張りを、成長した仲間や、自分を支えてくれた仲間にも、称賛と感謝の言葉をかけましょう。

3連休明けの11日（火）に後期がスタートします。素敵な笑顔で再会しましょう。

\*\*\*\*\*

## 「休日の部活動の地域移行」保護者と生徒に説明を実施！

9月30日（金）に保護者説明会を実施しました。会場には22名の保護者、3名の地域の方が、またオンラインでは21名の保護者が参加し、教職員と合わせて50名以上の参加となりました。

方針や内容・方法の説明に対して、会場の参加者だけでなくオンラインで参加した方からも質問をいただきました。现阶段でお答えできる範囲での回答となりましたが、今後に向けて考えていかなければならないことについての示唆をいただいたことに感謝しています。

また、前期の最終日である本日、生徒にも説明を行いました。直接関係があるのは1・2年生ですが、考え方の根底にある「生徒の自主性・主体性・自律性・社会性の育成」は、学年や部活動加入の有無に関係なく、全校生徒に深く関係のあることです。部活動改革は、それそのものが目的であるとともに、「生徒主体の学校づくり」のための手立ての一つでもあるのです。

国や新潟市の方針としての動きであり、指示を待ちその通りに動くことは簡単です。しかし、そこには学校の主体性はありません。大中学生全員の姿がありません。大きな流れの中で、進む方向が決まっているのであれば、その中で生徒にとって望ましいものとなるよう、自ら可能性を広げていくことが、生徒を取り巻く大人の責務であると考えています。

もともとは教員の働き方改革からスタートした動きです。しかし、それだけで進む大形中ではありません。常に「生徒にとってのよさ」にこだわり、それを求め続けていく大形中でありたいと思っています。

生徒・保護者・地域の皆様と力を合わせて成し遂げる覚悟です。



「心得の見直し」は、生徒の自治につながる価値のある取組です！



気持ちは一つ！最高の笑顔です！

大形中学校 校長室だより  
夢・希望・未来

令和4年10月7日

第16号



### 大形中の部活動に求められる改革

#### 休日の部活動の「地域移行」

令和5年度から、地域への移行を実施

\* 大中学生が今後取り組むこと \*

- ① 部長を中心とした自主的な取組の習慣づくり
- ② 安全に活動するためのルールづくり
- ③ 充実した活動にするための、活動内容の見直し
- ④ 問題を自分たちで解決する取組（話し合い）
- ⑤ 部の「目標」と「目指す姿」の設定

自分たちが活動を創る！その力が学校を変える！

この内容は、学校生全体に当てはまる！つまり、全校生徒に求められることだ！